

Anti human HNF4 α mouse monoclonal antibody(ProteinA purified)

HNF4 α : hepatocyte nuclear factor 4 alpha

製品コード PP-H1415-0C

Clone No. H1415

Lot. B-2

濃度 1mg/mL

容量 100 μ L

Ig class G2a

Nomenclature NR2A1

Genbank X87871

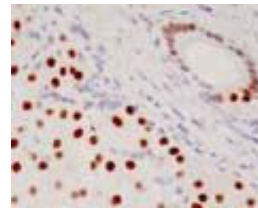
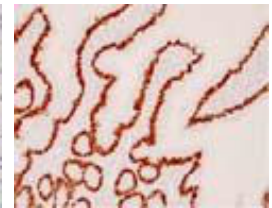
由来 ヒトHNF4 α (393-461 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、無血清培地中で培養した上清

特異性 ヒト HNF4 α 1, 2, 4, 5, 7, 8 と特異的に反応する。マウスおよびラット HNF4 α 1, 2, 4, 5, 7, 8 と交差反応する。

精製法 アフィニティークロマトグラフィー

溶媒 生理的食塩水
防腐剤として0.1% NaN3添加

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot 可
参考使用濃度 1 μ g/mL非還元 Western Blot 可
参考使用濃度 適宜調製してくださいELISA 可
参考使用濃度 0.3 μ g/mL免疫沈降 可
参考使用濃度 適宜調製してくださいSupershift Assay 可
参考使用濃度 2ng/assayクロマチン免疫沈降 可
参考使用濃度 適宜調製してください免疫染色 可
参考使用濃度 10-20 μ g/mLヒト
肝臓
パラフィン切片ラット
小腸
パラフィン切片

保存方法 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8°Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20°C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

参考文献 Tanaka T, *et al.* J Pathol. 2006; 208(5): 662-72
Sugai M, *et al.* Pathol Int. 2008; 58(11): 681-6

備考 溶媒に含まれるNaN3は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Apr 17, 2024